

目標	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な食品や調理形態に慣れ、楽しく意欲的に食事をとれるようにする ○食事を通して1人ひとりの子どもの生理的欲求を満たし生活リズムを安定させる
----	--

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ねらい・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士や友だちと楽しい雰囲気の中で自分で食べようとする意欲を高める ・幼児食を通していろいろな味や食感を知る 			<ul style="list-style-type: none"> ・安定した生活リズムで体を十分に動かして、空腹を感じる ・スプーンやフォークを使ってこぼしながらも一人で食べる ・「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをする 		
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・決まった時間に食事をする ・いろいろな食品が食べられる ・よく遊び、よく眠り、食事を楽しむ 			<ul style="list-style-type: none"> ・1人食べが確立する ・スプーン使いが上手になる ・食事のあいさつを片言や身振りでしようとする 		
配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・「おいしいね」「かみかみ」等優しく声をかけながら食事の楽しさやおいしさが感じられるようにする ・1人ひとりの子どもの安定した生活リズムを大切にし、食欲を育む ・いろいろな食品を使用し、薄味で多様な味付けの給食にする ・子どもの咀嚼や嚥下機能の発達に応じて食品の種類、量、大きさ、固さなどの調理形態に配慮する 			<ul style="list-style-type: none"> ・1人ひとりの体調に合わせて食べる量を調節して、楽しく食べられるようにする ・自分でしようとする気持ちを大切にし、必要な時に援助することで満足感が得られるようにする ・自分で食べたら褒める 		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ねらい・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手なものでも少量ずつでも食べようとする ・様々な食べ物を見て、触り、噛み、味わい、自分で食べようとする ・遊び食べをしない 			<ul style="list-style-type: none"> ・食事に関する語彙が増加する ・個々の適量を残さず食べる ・行事食を通して食文化に触れる 		
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・手をつけなかったものを少しずつ食べてみようとする ・よく噛んで食事をする ・皿をささえ食べられるようになる 			<ul style="list-style-type: none"> ・行事食を食べ楽しむ ・最後まで自分で食べようとする ・献立の食材や料理の名前を知る 		
配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・咀嚼が十分に身につくように援助して自分で食べようとする意欲を育む ・味や食材の好みが出てくることを認めながらさまざまな味に慣れるように無理なく個々に合わせて対応する ・苦手な食べ物は無理強いしない。ただし1～2口は勧めてみる ・苦手な食べ物に良いイメージがつくように楽しい雰囲気を作る ・保育士が手を添えて援助しながら食器を添えることを知らせていく ・よく噛む真似をしてみせる 			<ul style="list-style-type: none"> ・個々の適量を盛り付け、食べきる喜びがわかるように配慮する ・思い出に残る献立を作成する ・食べ物のおいしさ、味の言語表現を伝えながら食への感性を育てていく ・声かけだけでなく、子どもの器を持つ手を支えて食べやすいように援助する 		